

東関東協組だより



(第43・44号)

合併号

創刊 平成22年4月15日発行

東関東生コン協同組合

〒120-0036

東京都足立区千住仲町19番8号太陽生命ビル

電話番号(03)3879-5141

発行責任者 戸島 伸一

～ 協組スケジュール ～

1月20日 執行部会・常任理事会

27日 執行部会・常任理事会
理事会

2月 3日 執行部会・常任理事会

10日 執行部会・常任理事会
技術部会

17日 執行部会・常任理事会

18日 営業全体会議

24日 執行部会・常任理事会
理事会

3月 3日 執行部会・常任理事会

10日 執行部会・常任理事会
・技術常任部会

11日 営業全体会議

17日 執行部会・常任理事会

24日 執行部会・常任理事会
理事会

31日 執行部会・常任理事会

最大の使命である

『安定供給』

の責を果たす



理事長 小野 健司



新年明けましておめでとうございます。

コロナ禍のなかではございますが、皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素より協組運営にご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協組の現況ですが、令和2年度上期の出荷実績は18万2千 m^3 (前年比87%・予算比80%)であり、コロナの影響等により厳しい状況にあります。下期については若干の回復は見込まれるものの通期では40万 m^3 (前年比94%)を見込んでおります。来期につきましては、大型物流倉庫や高層マンションの着工が見込まれており今期を上回る事を想定しております。

価格面におきましては、令和元年6月より700円の価格改定をお願いし、状況を丁寧にご説明しご理解を頂いた結果、両調査会の表示も上申し、一定の成果を上げる事が出来ました。

しかし、その後も原材料費、人件費、輸送費に加え産廃処理費用も上昇してきております。もはや各社の自助努力の限界を超えてきており、令和3年6月から、1,000円の価格改定を理事会決定し、販売店の皆様にも事情をご説明いたしました。

また、戻りコンの削減および出荷キャンセルによる輸送費の上昇を抑える観点から令和3年4月出荷分から、戻りコン費用の改定ならびにキャンセル時間等の条件変更をお願いして参ります。

コロナの感染拡大による民間投資の減退が懸念される厳しい状況下ではございますが、協組の最大の使命である「安定供給」の責を果たすためにも、満額回答を目指し対応して参ります。

昨年を振り返りますと、世界中がコロナ禍において大きな被害に見舞われました。

また、夏には熊本県を中心に九州や中部地方など全国各地で集中豪雨が発生し、多くの尊い命が奪われました。このような未曾有な被害が頻発するなか、「コンクリートは人の命を守る」との観点から、地域の減災、防災に寄与すべく、引き続き高品質な生コンクリートの安定供給に、協組一丸となって取り組んで参ります。

年頭に当たり、皆様方のご健勝とご発展ならびにコロナの早期終息を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

登録販売店会議を開催

『生コンクリート価格改定』



東関東生コン協同組合では、令和2年11月25日開催の理事会において、「生コンクリート価格改定」を決定しました。また、出荷キャンセルの改定及び戻りコン(契約取消生コン)料金改定を理事会において承認され登録販売店会議にて説明致しました。

1. 値上額：1 m^3 当り 1,000円(標準品18-18-20N)

実施時期：令和3年6月1日以降引合受付分より

2. 出荷キャンセル改定について

改定内容：納入数量を50 m^3 以上に改定(現行100 m^3 以上)

前日(前営業日)12:00以降よりキャンセル発生

〈現行 前日(前営業日)15:00以降よりキャンセル発生〉

実施時期：令和3年4月1日出荷分より

3. 戻りコン(契約取消生コン)料金改定について

改定内容：商品代相当額+取消料10,000円/ m^3 (現行 商品代相当額+5,000円/ m^3)

実施時期：令和3年4月1日出荷分より

《理事交代》

11月25日付

就任理事名	退任理事名	会社名
上村 清	辻村 春夫	(株)内山アドバンス

《理事就任挨拶》

上村 清 副理事長

11月25日の臨時総会並びに理事会において、副理事長に選出頂きました株式会社内山アドバンスの上村清です。

現在、新型コロナウイルス感染拡大が様々な形で社会に影響を及ぼしており、生コン業界も工事の円滑な進捗や、先々の需要減退懸念、原材料の安定確保などその影響は決して少なくありません。

そんな中ではありますが、東関東協組が今後も社会により貢献できる様、そして組合員社が健全に持続発展できる様尽力して参りたいと思いますので、何卒宜しくお願い致します。



《 理 事 紹 介 リレー 》

故郷を想う



八洲コンクリート株式会社
専務取締役 志田 浩介



新年明けましておめでとうございます。

昨年はコロナに始まり、収まりがつかず寂然とせずに、一年があつという間に過ぎ去りました。

そんななか、新年を祝っていいものかどうか迷うところではありましたが、我々の属する生コン業界は力を合わせて困難を乗り切ったと考え、新年も意気込みを込めて祝いの言葉で始める事といたしました。

さて、私は北海道で生まれ育ち、こちらに移り住んで30年が経ちました。

最近になって北海道に住んでいた頃の思い出を妻と懐かしく話す事が多くなり、恥ずかしながら今回はそんな夫婦の望郷の話をさせて頂く事にしました。

多くの皆さんが頭に思い浮かべる北海道は「広い大地」「美味しい食べ物」「夏はゴルフ」「冬はスキー」「梅雨の無い爽やかな夏空」そんなイメージを持たれていると思います。

もちろん、一年の半分を雪に覆われた極寒の地である事もご承知だと思いますが、今回は私と妻が思い出す北海道の冬の話させて頂きます。

極寒の厳しさだけではなく、銀世界を想像してもらう事が出来ればと思います。

北海道では収穫後の田畑に霜が降った朝や、初雪の景色に冬の訪れを感じる人が多いと思います。

その後、月日を重ねるごとに日の入り時刻が早くなり、1月になると16時過ぎには辺りが真っ暗で “もう夜なのか・・・” と勘違いするほどです。そんな “夜の景色” も、昼間の気温が上がらずに降った雪が解けずに根雪になる頃には、様子も変わってきます。街路灯の少ない郊外の野原が雪で覆われ、月の光が雪に反射して1km先まで見渡せるくらいのもので、白夜になるのです。

それが、私が育った田舎の話にでもなると、家の裏窓から見える雪に覆われた畑を歩くキツネの姿が、月明かりのもとに見えるのです。まったく童話の世界ですね。

ですが、それも月が輝く晴天の夜の話であり、雪が降る夜は別世界になります。

札幌から離れた地方の街は、夜になると交通量も少なく、特に冬は静かなものです。

そのうえ雪となると・・・ 降る雪がわずかな音も吸収し、全く音の聞こえない世界に入り込みます。小説などで表現される “深深と・・・” の表現そのものです。そしてそんな雪道を歩くと、“ギュー、ギュー・・・” と靴が雪を踏み音だけが自分の耳に聞こえてきます。北海道の雪は湿気が少なく、サラサラした雪質なので歩くとその様な音がするのです。周りの音は聞こえず、靴で踏みつける音だけが聞こえるのは幻想的です。

北海道の冬は最低気温がー20度を下回る日もあり、暮らしにおいては半年のあいだ雪と寒さと共に過ごす事になりますが、それもまた今になればいい思い出だと妻と話しています。

北海道を訪れる時には、ぜひ深深と雪の降る幻想的で音の無い雪道と、できれば白夜のキツネを見てもらう事ができればと思います。

《ぶらり東関東》

北千住飲食店紹介 (No.13)



北千住飲食店紹介 (No.13) は、今は亡き、森山顧問も愛されていた北千住では有名な「jinzaemon」取材させていただきました。きっと森山顧問とお酒を酌み交わした方々は懐かしく感じられるのではないのでしょうか？

店構え・店内の雰囲気は「The 昭和」という感じでノスタルジックな雰囲気が漂っていて、店内は賑やかなお客さんの声が聞こえます。店員さんの雰囲気も良く、きびきびした感じです。料理はどれも美味しく中でも店頭で焼いている焼き鳥はとてもジューシーでタレ・塩ともに合います。串焼きのなかで「トマトの肉巻き」もお勧めです。他に「お任せ刺身のつけ盛」などメニューは豊富で飽きさせません。飲み物では焼酎で「jinzaemon (麦)」がスツクリとした味わいでお勧めです。お一人様でも気軽に利用できるカウンター席も用意！

新型コロナ感染拡大が収まらず、なかなか外飲みが出来ないとは思いますが、新型コロナ感染が収束し、気軽に立ち寄り、飲める事を願うばかりです。落ち着いたら、北千住に来てぜひ寄ってみてはいかがでしょうか？ 夕方からは混んでおり早めをお勧め致します。

監修:jinzaemon

この記事は令和元年11月頃に取材したのを使用しておりますのでご理解願います。



住 所 足立区千住2-62

(北千住駅西口より徒歩2～3分)

電 話 03-3870-4479

営業時間 14:00～23:30

定 休 日 無 休

座 席 数 カウンター席有、大人数可能(席数未確認)

2020年度実績

単位 (㎡・%)						
月	2019年度 実 績	前 年 実績比	2020年度 想 定	2020年度 実 績	前 年 実績比	想定比
4	25,660.55	64.66	37,000	37,710.35	146.96	101.92
5	26,484.95	78.56	39,000	25,130.75	94.89	64.44
6	33,122.35	85.89	40,000	26,954.65	81.38	67.39
7	39,945.80	108.40	39,000	32,712.25	81.89	83.88
8	36,059.55	109.44	37,000	27,555.05	76.42	74.47
9	47,053.35	170.31	36,000	32,153.30	68.33	89.31
上期合計	208,326.55	99.49	228,000	182,216.35	87.47	79.92
10	48,388.20	162.47	37,000	27,567.05	56.97	74.51
11	31,384.00	98.72	39,000	22,705.90	72.35	58.22
12	31,042.75	91.07	40,000	29,769.40	95.90	74.42
1	29,956.80	102.86	34,000		0.00	0.00
2	36,479.25	117.12	36,000		0.00	0.00
3	40,782.70	128.38	36,000		0.00	0.00
下期合計	218,033.70	116.16	222,000	80,042.35		
年度計	426,360.25	107.37	450,000	262,258.70		



広報紙委員長より皆様へ

これからの季節寒くなると、火を使う頻度が増えます。『自分の身は自分で守る』 **火の元には各自で気をつけましょう！**

広報紙委員会一同、今年も皆様に幸せと、笑顔、そして見やすい広報紙を提供したいと思います。本年も宜しくお願い申し上げます



広報紙委員長
株式会社 西野建材
代表取締役 西野光義



訃 報

株式会社西野建材

故 西野孝義氏(代表取締役社長)は、令和2年7月15日に逝去されました。(享年73歳)

お悔やみ申し上げ、心から哀悼の意を表します。

株式会社内山アドバンス

故 柳内正基氏(代表取締役会長)は、令和2年9月8日に逝去されました。(享年80歳)

お悔やみ申し上げ、心から哀悼の意を表します。

首都圏コンクリート株式会社

故 片山一男氏(取締役営業部長)は、令和2年12月17日に逝去されました。(享年71歳)

お悔やみ申し上げ、心から哀悼の意を表します。